

| 第2回 学校跡施設活用検討会議 議事要旨 | | | |
|-----------------------------|--|-----|----------------|
| 日 時 | 平成20年10月24日(金) 18:00~20:00 | 場 所 | 練馬区役所本庁舎5階 庁議室 |
| 議事次第 | 1. 開 会 2. 第1回検討会議議事要旨(案)の確認 3. 議事 (1) 光が丘地域および周辺環境の概況確認 (2) 学校用途以外の活用状況 (3) 全国的な学校跡施設活用の状況確認 (4) 区の新長期計画等において今後整備を予定している施設等の説明 (5) 学校跡施設活用の視点 4. 閉 会 | | |
| 配布資料 | 1. 第1回検討会議議事要旨(案) (資料1) 2. 光が丘地域および周辺環境の概況(追加) (資料2) 3. 学校用途以外の活用状況 (資料3) 4. 全国的な学校跡施設活用の状況 (資料4) 5. 区の新長期計画等において 今後整備を予定している施設等 (資料5) 6. 学校跡施設活用の視点 (資料6) | | |
| 出席者 | 【検討会議委員(50音順)】 秋山真理、上杉道子、上野定雄、遠藤薫、川下晃弘、下向薫、杉浦浩、 高橋司郎、森田善朗、横山正二 【練馬区】 企画部長、施設管理課長、都市計画課長、事務局(企画課) <div style="text-align: right;">(敬称略)</div> | | |
| 傍聴者 | 4名 | | |

議 事 概 要

| | |
|-----------------|---|
| 幹事 | <p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶。 |
| 会長 各委員 会長 | <p>2. 第1回検討会議議事要旨（案）の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の議事録の確認をお願いする。記載内容に誤り等はないか。 ・一異議なし ・これで確定し、後日、区のHPに掲載する。 |
| 委員 | <p>3. 議 事</p> <p>(1) 光が丘地域および周辺環境の概況確認</p> <p>【資料2 光が丘地域および周辺環境の概況（追加）に基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源の一例として自然をあげたにすぎない。たとえば人も資源。新たな資源を作る方法も1つだが、資源を洗い出していただきそのうえで、いまある資源、埋もれている資源を活かす、あるいは価値を高める形で施設が利用できないかを考える方法も1つ。 ・自然（公園）については、細かい利用の状況（利用主体・動態、内容、価値等）が知りたかった。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントも同様。地域外の人参加するような大きなイベントはあるか。 ・イベントについて、区外から人が訪れるものはハワリンバヤルがある。 ・7月のよさこい祭りは大きなイベントである。5月のこどもまつりや8月の光が丘フェスティバルも来客が多い。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・3月の「ねりま光が丘 Cherry-Blossom Festa2008」は今年が初となる。 ・桜の花見シーズンは、土日で8～10万人が訪れる。地元が2割、他地域が8割である。 ・4月の国際ダンスデー・フェスティバルはそれ程大きな規模ではない。 ・5月のハワリンバヤルは大規模ではなく、こどもまつりは区が中心になってやっている。 ・7月のよさこい祭りは、名称は変わったものの、光が丘警察資料によると、今年は3日間で30万人となっている。光が丘のお祭りでは、よさこい祭りが一番多く踊り手だけで2000名を超える。 ・光が丘フェスティバルの規模はよさこい祭りに次いで大きい。3日間で20万人以上が訪れる。 ・夏の雲公園祭り納涼祭は、開催日は金土で、地元住民の手作りであり、規模は小さく、2日間で3万人程度である（地元と高松の住民が参加）。 ・地区祭は、17出張所単位のもので、文化祭の色合いが強く6～7万人で全区から集まっている。 ・ねりまグリーンフェスティバルは一日で2～3万人が訪れる。 |

| | |
|-----------------|--|
| 委員 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業祭は、J A主催である。地元で作られた野菜が好評で、かなりの動員数であるが、昨年、会場を夏の雲公園から光が丘公園に移し、増えている。 ・障害者フェスティバルは1～2万人だと思われる。 ・地元の参加、区内・区外を見ると、最近は区外からの来街者もかなり増えてきている。 ・光が丘公園の火が使える場所では、土日にバーベキューをする人達も多い。 ・イベント等に訪れる人は、車、地下鉄、バス等を利用しているのか。 ・車で土日来られる方においては、駐車スペースに困る状況はない。光が丘公園の専用駐車場があり、(株)新都市ライフが運営する駐車場もある。また、付近の道路にはPメーターがかなり整備されているため、問題にはなっていない。 ・地下鉄利用は、光が丘駅は平日7～8万人、土日が5～6万人であるが、季節によっても違いがあり、桜のシーズンになると10万人近くになる。 ・一番問題なのは、自転車で来たほうが早い近郊地域の人々の駐輪場がないことである。ただし、来年4月に稼働させるべく3,000台の駐輪場の整備を都と区とが協議を進めようとしているところである。 |
| 委員 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・来街者は、地域にお金を落としているのか。 ・イベントは実行委員会方式で運営しているものもあるが、お金を落としてもらっているため、きちんと運営できている。 ・光が丘の中で、サークル活動している人達の活動の場が十分確保できているのか。区民センターは、抽選で場所を確保しているようである。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・建物をどのように利用していくかということであるということでは、その人達がどのような活動をして、どこでやっているのかを知りたい。 ・やはり、検討にあたっては、練馬区としてどんな施設が必要と考えているかを教えてもらいたい。 |
| 事務局 | <p>(2) 学校用途以外の活用状況</p> <p>【資料3 学校用途以外の活用状況に基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校用途以外の活用状況は、避難拠点、備蓄などの防災、図書館やスポーツ利用、選挙の投票所などとして活用されている。 ・地域の方々から多く利用されているため、これらの用途を外すとなれば、代替場所の検討が必要になる。 |
| 委員 事務局 委員 | <p>(3) 全国的な学校跡施設活用の状況確認</p> <p>【資料4 全国的な学校跡施設活用の状況に基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような団体がどのような時間帯で利用しているか等は分かるか。 ・体育館、グラウンドについては、どこの学校も土日はいっぱいである。 ・わずかに使える場所は、教室や調理室であるが、制約があり実際の利用は難しく、区民センター、旭町南地区区民館、光が丘地区区民館の3施設に集中している。 ・コミュニティやサークル活動を考えると、区の施設は5～10倍の倍率である。 |

| | |
|-----------------|---|
| 委員 事務局 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・サークルやコミュニティ活動に携わっている人はオフィスを持っておらず、実行委員長の自宅がオフィスになっているケースが圧倒的に多い。 ・このようなことから、コミュニティ施設の建設は急務だと感じている。 ・光が丘地域以外の住民からすると、全区的な利用を考慮すべきと考える。 ・団体活動の実績については、所管課でまとめているので、参考に次回示す。 ・光が丘の施設は全区民が利用している。公共施設では1～9日までに予約し、10日に抽選する。恐らく、全区的に施設が足りないのではないかと思う。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・活用は全区的な視点が必要だが、全区的なニーズがどのくらいあるのだろうかというでは定量的な見通しが必要だが、どのように調査すれば得られるだろうか。 |
| 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、集会施設は、地区区民館 22 箇所、区民館 11 箇所、地域集会所 20 箇所ほど整備しており、概ね 700m から 1 km 圏内で配置してきている。 ・名前が 3 つに分かれ、それぞれの利用の方法も違うため、機能を統一しようとしている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・各集会施設の利用実績については、所管課でまとめているので、次回示す。 ・避難拠点として、平成 10 年頃から各学校で、自治会や町会、PTA、民生委員などが 40～80 名くらい集まり、毎年、訓練等の活動をしていると聞く。地域コミュニティを考えるうえで有効な組織であるとともに、災害時には、避難者 600 人×4 校減ることになり大きな影響があると思われる。これらについて、防災課のほうに状況や今後の見通しについて聞いてほしい。 |
| 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・一つの学校ごとに 600 名程度を収容できるように考えている。全部の学校を使うのではなく、地域で限定して考えている。いずれにしてもどういう状況になっているかについての資料を提示する。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な活用事例に追加して欲しいものがある。跡施設の活用は、4 施設が一時期に発生するということがポイントになる。これと似たような事例としては、多摩ニュータウンがある。平成 8 年に 4 校が統廃合されている。ニュータウン系の活用として参考になる。 |
| 事務局 | <p>(4) 区の新長期計画等において今後整備を予定している施設等の説明 【資料 5 区の新長期計画等において今後整備を予定している施設等に基づき説明】</p> |
| 事務局 委員 | <p>(5) 学校跡施設活用の視点 【資料 6 学校跡施設活用の視点に基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 5 で、練馬区内の病床数については、今年の 3 月の法改正で増やせるとのことだが、練馬区の新長期計画は法律の見直し前に策定したものか。医療政策の充実はもっと優先度を上げていいのではないか。 |
| 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・本計画を作成している時は、北西部医療圏では新たに病床数を増やすことができない状況であったが、いま、区の内部で病床数確保をどうすればいいか検討している。次期長期計画等では、大きな事業として位置づけられる可能性はある。 |

| | |
|----|--|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・練馬区全体で病院が必要だと思う。日大光が丘病院も今後老朽化が進めば、今からその建て替えを検討することが必要である。建て替え期間中、多少縮小しても、代替が必要である。 ・病院の経営は大変であり、大学病院も厳しい状況にあると思われる。日大病院に地域で経営を継続して貰えるように働きかけが必要だろう。 ・順天堂病院ができた際、総合教育センターはグリーンプラザへ移されたが、現在何箇所かに機能が分かれているために不自由な状況である。 ・総合教育センターを光が丘地域に移してきて欲しい。 ・この検討会議で真剣に考えるべきは、廃校になる4校を使っていた団体が今後利用できるかどうかについて不安が非常に大きい。学校を利用している地域の人々のことを考慮することも必要だと感じる。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校側の立場としては、総合教育センターについてとても困っている。教育課題を研究する場がない、職員の研修の場がない、不登校児童が増えているがその子供達の勉強する場が不足している。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・練馬区は板橋区から分離したために元々医療施設が不足している。日大を残し、病床を増やすということのためならば、学校を代替として使うのは良い。 ・教育の荒廃を解決するための教育センターについては同感である。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・4校を見て、相当工事をしなければいけないと感じ、また建替えたほうが、費用対効果が良いのではないかと感じられた。 ・前回、法的な制限についてはとりあえずおいておくこととしたが、都市計画の変更はやはり必要だと考えており、性能評価については、場合によって一部解体したり、建替えたりすることもあると思われる。 |
| 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・検討の可能性としてはあるが、できるだけ現状を活かして欲しい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・病院の場合は、改修・改築が必要ではないか。 |
| 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・病院は20年経過しており、手狭なのでなるべく早くとは思うが、区としては、2～3年ではなく、10年くらいのスパンで考えている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・今のことではなく、建て替える時に、仮の診療所としての活用を考える必要がある。病床数の確保は今後も課題だと考えている。 |
| 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターは、活用要素としては強いとは考えるが、検討委員会の議論として出していただければ、区としても検討していきたい。 ・病院の建て替えの代替施設、総合教育センター、地域会合等で使っている団体等への配慮などについて意見が出た。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・会議ではいろいろな角度で検討が必要だが、ある時点で、行政としての考えを出していただき、それをもとに検討し合いながら、各委員が納得する形に進めば、検討会議の総意となる。 ・これらの強い意見があるということ、区も踏まえていただきたい。 |
| 委員 | <p>(6) 各委員による意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替える必要性は低いと感じたが、リニューアルにはお金がかかると感じた。お金をかけないでイニシャルコストは下げても、人気が無い施設を作るのか、 |

| | |
|----|--|
| 委員 | <p>お金や制度面で大変でも使われる施設を作るのか。コストをかけないと言うことだけでは良くない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生に学校のシンボリックなものを残す必要があると思われる。どんなものを残したいと思っているか、また、基礎調査として現在、学校がどのような団体にどのように使われているか、特徴などを整理したものを、皆さんと共有させてほしい。 ・1施設1機能ということではなく、複合的な機能をもたせることになると考えている。そこで、資料5の未整備のものについて、ハード面の規模など、最大でどのくらいのものが必要か、事業内容はどのようなものを想定しているかなどの資料が欲しい。 ・資料5について、未整備のものが主になると思うが、ハード面の規模、複合的な機能を持たせるということも含めて、最大でどのくらいのものが必要か、事業内容はどのようなものを想定しているかの資料が欲しい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の形状に即した活用を検討する必要がある。 ・図書室などはそのままの状態でも利用できると思われるが、一つの建物を、地域住民全体が、複合的に利用できるという。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・一度、皆の意見を出し合ったほうがいい。その上で、コンサルに整理をして欲しい。皆で具体的な想いを出し合いたい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・私の住んでいる地域には、徒歩圏に小学校が1つしかないため、非常に特別な状況に思えた。 ・子供が減っているため、グラウンドを使う野球チームなどのニーズは減っていくのではないかと。 ・既存の利用者への配慮は必要だが、全区的な視点での活用を考えて欲しい。 ・総合教育センターや医療施設などとして使えるようにして欲しい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・多摩ニュータウンは、高齢化も進み、ニュータウン再生が叫ばれている。いま、22%程度なのにそういう状況である。区民のため、地元のためということもあるが、若い方も住んでもらえるような施設にして欲しい。 ・子育て支援や病院等の確保にお金を惜しまず使って欲しい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・著しい高齢化等が進んだ状態になっていかなないようにするための活用方法が一番のポイントである。 ・地権者が細分化されている状況から、現在の法制度の中でできる形でやっていくべきだと思う。 ・物事を捉える視点として、総合教育センターは当然のことである。 ・光が丘を高齡化社会にしないようにするために、若者のための施設が必要である。IT、音響、アニメなどがあり、練馬区の産業振興にも繋がる。 ・若者という視点において、どんな活用があるかの検討が必要である。 ・高齢者と障害者という視点、団塊の世代の視点が必要である。 ・団塊の世代は、地域との繋がりが少ないため、生涯学習施設などとして使えるようにしていくことが必要である。 ・学校のシンボルを残すということについては、賛成である。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生にとって、学校は心のふるさとであるため、空いたままにせず、大事 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>に使ってもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を利用したいという人は非常に多い。平等に多くの人々が利用できるようにすべきである。 ・子供の教育に非常に危機感を抱いている。それは学校だけの問題ではなく、国民的課題であると考えられるため、総合教育センターを切望する。 ・救急医療体制について、ニュース等により問題となっているが、医者不足の問題が大きいと思う。ベッド数を増やしても医者がいなければ意味がない。医者に練馬へ来て勉強してもらい、その後、練馬で3～5年は勤務してもらおうという制度を作ればいいのか。 ・練馬区に住みたいと思ってもらえるような地域にしていくことが必要である。 ・光が丘は、緑も多く、よい場所である。それらを整理することが必要である。 ・教育施設の問題は、今の施設を移せばいいということだけではなく、現在の教育関係に携わる人々が本当に足りているのか、効率的に働いているのか、そこまで含めて検討することが必要だと思われる。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・光が丘の人口は減っているが、世帯数は減っていない。ピーク時と今では同じである。子供が成長し出て行ったため、高齢化が進んでいる。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターを作ったら、その中に8校の校歌や校長の写真などを学校のコーナーを設け展示し、自分達の学校を感じることができるようスペースを設けて欲しい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・8つの学校の問題について、統合準備会においても同じような意見が出ている。記念になるものを一括して保管するという意見もある。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口推計で、団塊の世代の割合が突出しているが、その方々は、元気で色々な体験をされている。そのような方の体力や知見を使わない手はない。 ・また、少子化問題ともリンクさせることが必要だろう。20～40歳くらいの人口はそれほど変動がなく安定している。ここで子供をもうけることへの支援を厚くすれば子供の数も増える。その子供と高齢者を結びつける策もある。 ・光が丘地域は交通の便が良く、特に道路の利便性が高い。車を使う際は、駐車スペースの問題もある。日祭日に限っては、学校の校庭も駐車場として活用できるのではないかと。車利用者を想定した活用方法の検討も必要である。 |
| 事務局 | <p>4. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回から、郵送する資料は、メールで送付できるものについては、メールでも送付する。 ・今回は、11月18日（火）18時30～20時30分、場所は同じく庁議室にて行う。 <p style="text-align: right;">以上</p> |